

福岡県中小企業振興センターで県政報告会を開催し、
当選から今までの県政活動等について話しました



福岡県議会議員(博多区)

坪田すすむ

通信

Vol.12

6月定例会報告
2026

AI 導入で行政サービス革新を

2026 年 6 月定例会 一般質問

生成 AI は、文章作成や要約、翻訳だけでなく、情報収集・分析・資料作成などを自律的に行う「AI エージェント」へと進化しつつあります。行政においても、人口減少や少子高齢化により業務が複雑化する中、限られた職員体制で質の高い県民サービスを維持するためには、AI の有効的な活用が不可欠です。

福岡県では、全国的にも早い段階から生成 AI の活用に取り組み、庁内業務用の「福岡県生成 AI チャットサービス」の導入を進めてきました。今回の一般質問では、現在の利用状況と効果、AI エージェントの行政利用について、県の考えを質しました。

庁内業務用 AI チャット 県で導入

AI によって定型的な業務は効率化し、政策立案や県民対応などにリソースを振り向けるべきです。

福岡県では 2024 年 11 月から庁内業務用の AI チャットの運用を開始し、約 5600 人の職員が企画案の作成や文書の要約といった日常的な事務作業に利用していて、資料作成や問い合わせ時間の短縮など、業務効率化やアイデアの創出にも一定の効果が出ているとのことです。この生成 AI は、条例や規則など、県固有のデータを活用しています。



AI エージェントの活用推進を

今後、行政分野で大きな可能性を持つのが「AI エージェント」です。人からの質問に答えるだけでなく、目的に応じて資料収集、制度調査、情報分析、報告書作成などを自律的に進めることができます。

国では、生成 AI 基盤「源内」を活用し、全府省庁で大規模な実証事業が進められています。

県の業務についても、議会答弁の準備、制度調査、県民からの問い合わせ対応、契約書確認、補助金制度の整理、各種計画の比較分析など、幅広い活用が想定できます。今後、県庁全体の業務改善につなげていく必要があります。



活用可能分野 広がる可能性

また庁内業務効率化に限らず、行政サービスそのものの改革もできるはずです。

例えば、地域公共交通の需要分析、外国人観光客への多言語対応、福祉サービスのマッチング支援など、AI を活用できる分野は多くあります。

災害対策関連では、帰宅困難者の発生予測や避難誘導の最適化も実現できる可能性があります。



災害予測、人手不足解消策へ応用

坪田：AI は庁内業務効率化にとどまらず、県民サービスの向上と県政課題の解決にも活用できる。地域公共交通の維持確保、インバウンド対応、障がい者支援、帰宅困難者対策など、福岡県が抱える行政課題の解決に向け、生成 AI や AI エージェントを今後どのように活用していくのか。

知事：県では、15 時間先までの災害リスクの分析予測や、3 日先までの大気汚染予測など、AI の実装を進めている。今後は、データに基づく政策立案、中小企業の人手不足解消に向けた生産性向上、子育て支援など、政策立案に向けて活用を検討していく。

変化に応じ戦略の機動的見直しを

坪田：県の基本方針「福岡県 DX 戦略」の中で AI 活用が位置付けられているが、AI 技術の進展は速く、社会や行政に影響を及ぼしている。技術革新に応じて機動的に見直しを行う仕組みが必要ではないか。

知事：昨年 3 月に策定した「福岡県 DX 戦略」は、計画期間は 3 年間だが、施策の見直しを毎年度行っている。AI など新技術の発展に伴い、戦略の見直しが必要な場合も適切に対処する。

福岡県の AI 活用 4 つのポイント

庁内業務の生成 AI 活用から、県民サービスを高める段階へ

① 庁内業務の効率化

文書作成、要約、企画案づくり、問い合わせ対応などを支援。職員が政策立案や県民対応により力を注げる環境づくりへ。



② AI エージェントの研究

資料収集、制度調査、情報分析、報告書作成などを自律的に支援。国の同行も踏まえながら、県で活用可能性を調査・研究。



③ 県政課題の解決

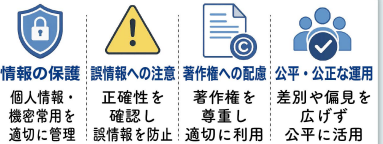
防災、交通、観光、福祉、子育て、中小企業支援など幅広い分野で活用。データに基づく政策立案と、県民サービス向上につなげる。



福祉・子育て 中小企業支援 データ活用

④ リスク管理徹底

個人情報・機密情報の保護、誤情報への注意、著作権への配慮、差別や偏見を広げない運用など、安全な活用を徹底。



AI を活用し、業務改善と県民サービス向上を両立

活動報告



ミクニワールドスタジアム北九州で大学ラグビー伝統の一戦「早明戦」が行われました。試合前には、私が顧問を務める車いすラグビーチーム「福岡ダンデライオン」の PR イベントの機会をいただきました。写真は、福岡ダンデライオンの堀貴志選手（左手前）、同じく PR イベントを行なった女子ラグビーチーム「ナナイロブリズム福岡」の選手の皆さんと

車いすラグビー日本代表の中谷英樹ヘッドコーチが来福。福岡ダンデライオンの選手たちは熱い薫陶を受けました



大雨の中、博多どんたくのパレードに博多那能津会のメンバーとして参加



母校、筑紫丘高校の同窓会・懇親会に参加。来年筑紫丘高校は創立 100 周年を迎えます。写真は恩師・清輔正孝先生と



Mission

県民生活商工委員会 委員

国際化・多文化共生社会調査特別委員会 委員

福岡県日米友好議員連盟 事務局長

社会保険労務士／保護司

車いすラグビーチーム「Fukuoka DANDELION」顧問

福岡県ラグビーフットボール協会 顧問

NPO法人福岡すまいの会 顧問

一般社団法人てとて（障がい者グループホーム運営）理事

中小企業家同友会 博多支部／福岡大濠ライオンズクラブ

つくし青年会議所シニアクラブ／城南倫理法人会

Career

87年 正光寺ひかり幼稚園（博多区）

90年 板付小学校入学

94年 塩原小学校入学（筑紫丘Jrラグビークラブ）

96年 福岡市立春吉中学校入学（筑紫丘Jrラグビークラブ）

99年 福岡県立筑紫丘高等学校入学（ラグビー部）

03年 早稲田大学 文学部入学（ラグビー部）

07年 NPO法人福岡すまいの会入職（ホームレスの自立支援）

14年 社会保険労務士資格を取得 博多駅前に事務所を設立

14年 車いすラグビーチーム「福岡ダンデライオン」設立

21年 衆議院議員選挙立候補（福岡 1 区選挙区）

23年 福岡県議会議員選挙 初当選

Office

Tel 092-710-4930 Fax 092-710-4931

〒812-0045 福岡市博多区東公園5-18ヴェルゾン東公園1F（事務所）



SNSリンク

LINE

X

facebook

instagram

youtube

homepage